科目名	関係行政論		担当教員	成田 絵吏		
単位	1単位	講義区分			ナンバリング	
期待される学修成果						
アクティブ・ラーニングの要素	ディスカッション、ディベート					
実務経験	臨床心理士、公認心理師					
実務経験を生かした 授業内容	臨床心理士、公認心理師としての勤務の経験を活かし、関係機関と連携した支援のあり方について講義する。					
到達目標及びテーマ	臨床援助サービスを管理・運営、援助サービスのシステムの視点から学習する。そして、教育関係機関、身体障害者施設、医療機 関、精神保健施設、家庭裁判所、児童自立支援施設などにおける臨床行政の現状・実態と問題点について学習する。					
授業の概要	臨床行政の、特に教育機関、福祉機関、保健・医療機関、司法・矯正機関等の現状と問題点について、具体的事例から学習する。					

授業計画			
第1回	法体系と公認心理師の理解		
第2回	保健医療分野に関係する法律・制度		
第3回	福祉分野に関係する法律・制度		
第4回	教育分野に関係する法律・制度		
第5回	司法・犯罪分野に関係する法律・制度		
第6回	産業・労働分野に関係する法律・制度		
第7回	その他の心理的支援に関わる法律・制度		
第8回	授業全体の総括および学習到達度の確認試験		

	事前学修		次回の講義内容をめぐって知っていること、イメージをまとめ、書籍やインターネットなどを用いて調べる。また、 講義前に資料がある場合はそれを熟読する。			
事後学修			講義の内容をふりかえり、重要点や自分の考えをまとめる。自分が疑問や関心を持ったキーワードなどを調べて理解 を広げる。			
フィードパックの方法	講義内容や小説					

成績	評価方法	割合 (%)	評価基準等	
上記以外の試験・平常点評価		100%	講義内に課す小課題等への取り組み(20%)、確認テスト(80%)	
定期試験		0%	実施しない	
補足事項	・本授業は前期の前半8週に開講する。(システム上の制約より「隔週偶数」開講と表示されている可能性があるが、間違えないよっに注意する) ・全8回の授業である。授業欠席の回数が全授業数(8回)に対して3分の1を超えないことを注意する。			

教科書					
書名		著者	出版社	ISBN	備考
教科書は使用しない。資料を 適宜配布する。		なし	なし	なし	なし
参考資料	必要に応じて適宜紹介する。				